

フルコンタクトカラテルール 試合規約

【 審判基準 】

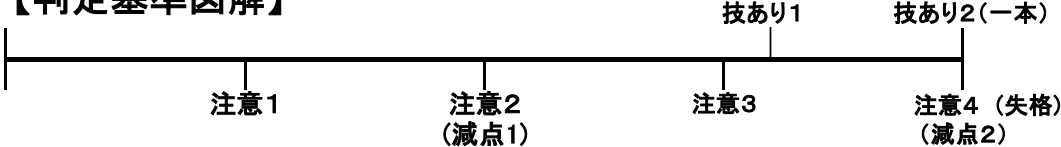
審判員および審議員は同等の権限をもって競技の審査に当るが、競技に対する最終決定は、審判長の裁可による。

但し、必要と認めた場合は、審判長の裁量により、改めて時間を設定することもありうる。

大会進行は、極力スケジュールに沿わせるが、止む得ない事態が起きた場合は、審判長・審議委員長が協議の上、審判長が変更を指示することができる。

【組手試合の規定時間は、幼年部1分 小学生～中学生1分30秒 高校生以上2分延長戦も同じとする。】

【身長・体重は正確にお願いします。 3kg未満【注意1】 3kg以上【減点1】 5kg以上【失格】とする】

【判定優先順位】	一本 (失格)	>技あり>ダメージ>有効打>攻撃数>積極性
【判定基準図解】		

【組 手】

①組手の勝者は、一本勝ち・判定勝ち・相手の反則及び失格による勝ちにより判定される。

②一本勝ち
※反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を決め、相手選手を3秒以上ダウンさせるか、戦意を喪失させた時。
※技有りを2回取った時。

③技有り
反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を決め、相手選手が、一時的にダウンさせるも、2秒以内に立ち上がった時。
※上段膝蹴りは、上級クラス小学1年生からとする。

④判定 【延長戦は、サドンデス・マストシステム】
一本勝ち、失格がない場合は、主審1名、副審2～4名の判定が決まらない場合は、延長戦1分を行う【マストシステム】
延長戦は、準決勝以上について2回迄とする。

⑤反則
※拳・肘による顔面殴打 ※金的蹴り ※頭突き
※拔手による首から上への攻撃
※ダウンした相手に攻撃を当てた時
※以上の他、審判員が特に反則と見なした時
※相手の道着や体を掴んだ時。
※手掛けした時。 ※掌底による押し。
※反則は、悪質なものを除き注意が与えられ
注意2で減点1 減点2で失格となる。
※注意を2回受けた時。
※主審の判断により、特に悪質と見なされた時。
※注意を2回受けた時。

⑥失格
※申告した身長・体重が著しく異なる時。
※試合中、審判の指示に従わない時。
※出場時刻に遅れたり、出場しない時。
※粗暴な振舞い、悪質な試合態度と見なされた時。
※減点を2回重ねた時。

【選手の呼び出しは致しません。3試合前には待機！いない場合は失格とする】

【防具着用基準】	ヘッドギア	グローブ	拳サポーター	足サポーター	膝サポーター	ファウルカップ	チェストガード
幼年・小学生・中学生・高校生	着用自由	×	○	○	着用自由	○	女子4年生以上
一般男子有級・壮年(40歳以上)	着用自由	○	○	○	着用自由	○	
一般女子上級	×	×	×	○	着用自由	着用自由	○
一般男子上級	×	×	×	×	着用自由	○	